

# 集落のチカラは、 佐渡のチカラ!!!

多様な集落が生き活きと輝く佐渡を実現します!!

- 1 集落ツーリズムによる雇用創出
- 2 佐渡の玄関口整備による観光振興
- 3 島内交通インフラの整備による産業振興



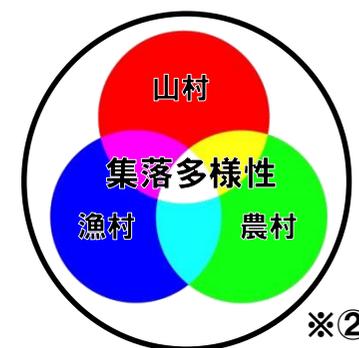
▼佐渡の魅力 10項目 チェックリスト ⇒ 知っている：✓ 知らなかった：？

／10

- ①日本の離島の中で最大である。（沖縄本島を除く）
- ②植生の南・北限とされる北緯38°線が島の中央を通過していることにより1700種もの植物相をもつ。  
（cf. 屋久島の植物相は1370種、佐渡は長崎県と同程度の1700種）
- ③南北方向に伸びる一島二山型の地形により気候に多様性が生じ、  
また時間距離（移動に要する時間と距離の関係）が複雑化する。
- ④思想犯の遠流地・佐渡金山の繁栄・北前船の来航といった、島外からの人の流入が日常化してきた歴史をもつ。
- ⑤全国の1/3にも上る32の能舞台が神社に併設されながら現存する。
- ⑥鬼太鼓・能・佐渡おけさ・文弥人形・春駒・花笠踊りといった伝統芸能が受け継がれ保存されている。
- ⑦特別天然記念物であるトキとの共生に意欲的で、生息環境改善を可能とする環境保全型農業への転換が進んでいる。
- ⑧平野部における稲作が盛んなだけでなく海・山の幸を享受できることから、およそ60万人分の食料確保が可能とされる。
- ⑨江戸・京都・西日本の影響により島内に異なる方言をもつ。
- ⑩多様な集落および建築形態がコンパクトに凝縮されている。

# ▼『佐渡アイランド集落ツーリズム』構想の実現

佐渡の集落は多様で個性豊かで素晴らしい！  
 生き生きと暮らせる集落づくりを実現します！



佐渡の集落を守り、輝かせる！！！！

限界集落も増え、待ったなしの状況です。  
 その解決のためには・・・

『佐渡アイランド集落ツーリズム』構想

佐渡の集落を電気自動車で巡る新しい観光。  
 ストーリーのある旅づくりを構築。 ※①

『佐渡アイランド情報化大作戦』

地域おこし協力隊の仲立ちによって、  
 集落の方から佐渡の小中高生、Uターン者へ  
 集落の魅力を教えていただく機会を創出。

ITで『佐渡の集落多様性』を世界に誇る

一人ひとりが集約した情報は多言語対応の  
 WEBサイトを制作し世界中に発信します。 ※②

佐渡の集落の守り人『佐渡人』の育成

佐渡を大切に思う心と生活できる懐のある  
 『佐渡人』を集落の守り人として育てます。

『集落環境・景観を守るルール』づくり

古民家再生、利活用による受入体制構築

一社一村運動、CSR、『生き方の博物館』

『食とエネルギーの地産地消』を目指す！

集落内の地域教育、観光振興、雇用創出  
 (コミュニティスクール=みんなの学校) (生業ハローワーク)

『子育て¥0の島づくり』を目指す！

Uターン、孫ターン促進、交流人口増大



# 韓国・農村愛一社一村運動

韓国では都市への人口集中が激しく、農産物の自由化問題も加わり、都市と農村の対立が社会問題化。韓チリFTAの発効がきっかけに。

## 農村愛一社一村運動(2004年～)

一つの企業が一つの農村を支援しようとする考えにもとづき、一つの企業が一つの農村と姉妹提携を結び、多様な交流活動を持続的に行うことによって、コメなどの農産物開放で、苦しなくなった農業・農村を取り巻く環境を改善するために展開する運動。全国経済人連合会、農協中央会、文化日報が中心となって展開。

農作業支援

農産物購入

企業ノウハウ  
を使ったビジネス  
支援

- 運動開始から2年半後には、韓国にある4万余りの集落(マウル)の約3割をカバーする提携(12,975件、2006年12月時点)が成立
- 提携主体の内訳(2008年6月時点):サムスン電子を始めとする企業(41.8%)、官公署(14.5%)、農協(11.4%)、学校(7.5%)、消費者団体(5.9%)、社会・宗教団体(5.3%)

# 静岡県「一社一村しずおか運動」



出典: <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-630/issyaissan/index.html>

## 概要

- 農山村と企業が対等な関係のパートナーシップを組み、それぞれの資源、人材、ネットワークなどを活かした双方にメリットのある協働活動を実現することを目的。
- 県は農山村と企業の要望をコーディネートする取組と位置づけ。PR活動や農山村と企業の交流会、活動資料の作成などを持ち出して実施(09年度207万円)
- 06年度から認定制度開始。認定基準は協働活動であること、地域活性化の活動であることに加え、活動が継続して行われる見込み(3年以上)があること。
- 認定事業については、県において広報活動を実施。

## 実施実績(平成22年11月現在)

年度	企業名	内容	年度	企業名	内容
06	アストラゼネカ(株)	棚田保全、地域貢献	08	(株)エクノスワタナベ	遊休農地を利用した環境保全(水生生物の保全)、自然観察会の開催
06	(株)ポッカコーポレーション	里山保全、地域貢献	09	静甲(株)	地域の環境整備課集う、地域資源を活用した新商品の開発支援
06	(株)フジヤマ	遊休農地解消、環境保全	09	不二総合コンサルタント(株)	棚田の保全活動、環境保全活動
07	静岡大学農学部	茶園管理等農作業、集落の環境保全	09	藤枝市総合病院	地元食材を活用した病院食の提供による地産地消の推進
07	富士錦酒造(株)、(株)平喜、松崎小売酒販組合	棚田米による新商品の開発販売、売上の一部を棚田保全活動に寄付	09	社会福祉法人ハルモニア	遊休農地を活用したコンニャクイモの栽培、観光栗園の栽培管理
07	富士常葉大学環境防災学部	農業体験を通じた棚田保全活動	09	(有)フジ化学	地域の環境保全や営農補助
08	居酒屋 賤機はん兵衛	店舗として棚田オーナー、地元食材を活用した地産地消の推進、売上の一部を棚田保全活動に寄付	09	(株)季咲亭	地域特産品の開発と地産地消の推進
08	(株)遠鉄トラベル	里山保全、農作業、地域貢献	09	ナカダ産業(株)	地域の環境保全
08	明治製菓(株)東海工場	里山の保全及び活性化イベントでの協力(アーモンドの里作り)	09	(株)ウェブサクセス	棚田保全活動等の広報への支援、人的支援
08	(株)季咲亭	遊休農地解消を活用した野菜等の栽培、地域の環境整備、地域特産品の開発と地産地消の推進	10	共立印刷(株)	生態系・水質保全向上対策事業(ホテルの里づくり)農業体験などの農用地の有効活動支援対策事業

出典：経済産業省地域経済産業グループ（平成22年12月）